

## グループ紹介

### た く まい ゆう れん 多久舞友蓮

楽しく美しく妖艶に舞います！



多久舞友蓮は、平成15年に多久まつりの“よさこい”出演のため、多久原踊り隊として結成。平成20年に「多久舞友蓮」に名称を変更し活動しています。メンバーは25人。市内だけでなく市外からも加入し、九州各地で行われている大会やイベントに参加しています。

去年は結成10年を記念して、オリジナル曲「華美shippu」を作成。曲、振り付け共にオリジナルで仕上げ、様々な大会やイベントに年間35回出演しました。他県で踊っていると多久出身者から『多久から？懐かしい♡』と喜ばれたりもし、多久市のPRのお手伝いできたらとの思いで活動しています。

代表の貝通丸由美さんは「みんなで楽しく踊るのが一番！頑張ることで賞がついて来ればいいですね」と活動の方針について話しました。

メンバーは「県内外の違った地域で踊ることも楽しみの一つ。みんなで各地の美味しいものを食べるのも最高に楽しい。もっと多くの人にこの楽しさを知ってもらい、良いヨサコイ（世さ来い）を心に願って一緒に踊りたい」と活動について話しました。

練習時間は月・水曜日20時～22時、月曜：旧北部小学校体育館、水曜：西溪校中学部体育館で練習しています。大人から子ども、ファミリー、独身者、男女、年齢を問わず大歓迎（特に男性の参加！）します。ぜひ一度見学に来てみませんか？

問 代表 貝通丸由美 ☎090-7454-8796

ふ・わ・あ・い・ひ・ろ

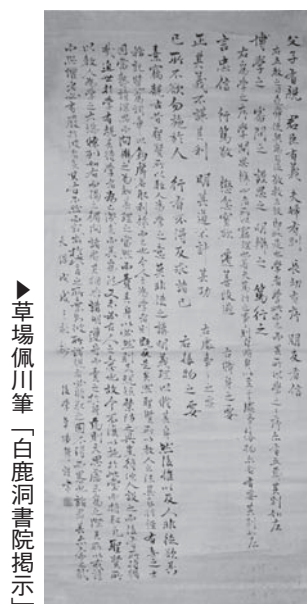
## ●連載36● 郷土資料館で学ぶ多久の歴史

### 人として生きる道を示す「白鹿洞書院掲示」

白鹿洞書院とは、唐代、中国・廬山<sup>ろざん</sup>に建てられた書院で、朱子学の祖朱熹が講義を行っていたことで有名です。朱熹が定めた「白鹿洞書院掲示」は、中国のみならず朝鮮や日本にも大きな影響を与え、東原庫舎でも教育理念として掲げられていました。

「父子に親あり。君臣に義あり。夫婦に別あり。長幼に序あり。朋友に信あり。」この5つが人倫（人として生きる道の意）の根本であるとし、身を慎み、思いやりを持つことが、古今東西の学者たちが追い求めている学問の真理である、と述べられています。

この書は、東原庫舎の教官を務めていた草場佩川によるものです。



草場佩川筆「白鹿洞書院掲示」

## 多久市郷土資料館・歴史民俗資料館・先覚者資料館

開館時間 / 9時～16時 入館料 / 無料

休館日 / 月曜日（月曜が休日の場合は開館し翌火曜休館）

■問い合わせ 多久市郷土資料館 ☎75-3002

## 市民文芸

### 短歌

《表の芽短歌会 互選》

新築のそばの陽だまりに 老夫婦

居場所定めて 黙し座し居る

京の旅土産のかんざし髪にさす 浦野 嘉恵

手わざの華の優美に咲ける 本村 則子

町角に店を構えた次男嫁 幸先よかれと唯祈るのみ 福島那智子

平戸へと家族のぬくもりプラスして ヒラメづくしをおいしく食う 梶原恵美子

鶯の初音とどきし朝には 補聴器もちて庭に佇つ夫 川浪 信子

### 俳句

《俳句 大石ひろ女 選》

隣には座る人なき 春炬燵

森山 抱石

菜の花や 流れに浴びて 大蛇行

中尾 和弘

天山へ日ごとに登る 落の臺

田原のぼる

足音に 鯉の群れ来る 初桜

倉成 皓二

紙風船 ぽんと返して 厨事

富樫 明美

### 川柳

《多久市川柳会 互選》

喜寿過ぎて 急ぐことなし 春うらら

松下 修

ひと息で とても消せない パースデイ

大谷 和

山ほどの 思い出 残し 友は 逝く

高塚チカ子

ゆつくりと 走る 帰りの 救急車

西山 残月

梅干が 特等席の 幕の内

猪ノ口昭子